

まことの道

【文月】七月
ふみづき

学問がくもんに 近道ちかみちなし

学問がくもんというものは、
まず基礎きそをしっかりと修め、
そのち系統けいとう立てて
深めふかっていくもので、
いきなり高度こうたなものを求めても
成就じゆうしゆしないというんよ

お申し込みは
こちらから



神奈川県
神社庁
ウェブサイト



神話冊子「みんなの神さま」を
無料で配布しています。
詳しくは
神奈川県神社庁ホームページを
ご覧の上、申込フォームより
お申し込み下さい。

神話冊子
「みんなの神さま」
無料配布

お祭りについて

お祭りというと、通常とは違った晴れやかに賑わいを見せるイベントなどで使われることが多くあります。

神社でのお祭りも武者行列が登場したり山車が巡行して、笛や太鼓の調べが流れ、屋台が立ち並ぶといった賑やかな側面もあります。しかし、神社でのお祭りの本当の意味は、その賑やかさも含めて、心身を清め、神様に正対し感謝の心を捧げることにあります。その意味では、通常の神社の参拝となんら変わることはありません。

「まつり」の語源は、神さまの力に従い奉仕する「まつらふ」という言葉に由来するといわれています。また、「まつり」という言葉の中には「まつ（待つ）」という言葉が含まれています。大昔、神さまは遠いところから来られて、山や岩、木などに宿ると考えられてきました。つまり、神さまが現れるのを「待ち」、神威に服することが「まつり」であるといわれているのです。

いつの時代も人々は、心を尽くしたお供物（神饌）を捧げ、神さまをおもてなしして日頃の神恩に感謝してきました。また、人々は「まつり」に参加することで、同じ時と所に生きる人たちと喜びを分かち合ってきたのです。

神奈川県神社庁

〒235-0019 横浜市磯子区磯子台20-1
TEL:045(761)6387 FAX:045(761)0100
E-mail:k-jinjacho@kanagawa-jinja.or.jp



ご自由に一枚ずつお持ち下さい。

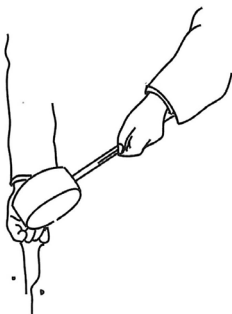
〈手水の作法〉

手を清めてから
お参りしましょう。



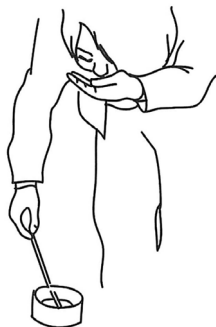
1

まず右手で柄杓を取り、
清水を汲んで左手にかけ、
左手を清める



2

柄杓を左手に持ち替えて、
同じように右手を清める



3

再び柄杓を右手に持ち、
左の手のひらに水を受けて口をすすぐ。
口をすすぎ終わったら、
もう一度、左手を水で流す
※後の人が気持ちよく手水を
使えるよう心がけましょう